

アクアマリンふくしまチケットシステム構築等業務委託 企画プロポーザル募集要領

1 委託業務名

アクアマリンふくしまチケットシステム構築等業務委託

2 背景と目的

アクアマリンふくしま(以下、「当館」という。)のチケットシステムについて、これまで当館で25年間使用してきた入館者等実績管理システムの老朽化、保守業務の終了及び昨今のデジタル化に対応していない等の問題を鑑み、利用者の利便性の向上及び業務効率の向上を目的として、新たにチケットシステムを構築し、安定運用を図る。

3 委託業務期間

システム導入構築：契約締結の日から令和9年3月31日まで

4 委託費の上限

30,000千円（消費税及び地方消費税の額を含む）

なお、この合計額を超えた提案は無効とする。

※令和9年4月から開始する保守業務の費用は上記事業規模に含まないが、令和14年3月末までの1年間の保守費用の見積もりを示すこと。保守費用についても評価の対象とする。

※委託費の上限額は契約時の予定価格を示すものではなく、事業の規模を示すためのものであることに留意すること。

5 委託業務の内容

新たなチケットシステム構築のために、下記の業務を行います。

- (1) チケットシステム構築
- (2) 年間パスポートシステム発行構築
- (3) 一般団体予約システム構築
- (4) 減免（団体）受付兼減免申請システム構築
- (5) 運用環境等構築
- (6) システムの導入、運用支援及び保守
- (7) マニュアル作成及び操作研修
- (8) 上記業務に付随する業務

詳細は別紙「アクアマリンふくしまチケットシステム構築等業務委託仕様書（案）」のとおり

6 企画要件

提案者は専門的な立場から、当該システムのあり方を見据え、他水族館や観光施設等の事例等も参考にしながら、仕様書に示す業務委託の目的・趣旨を達成するため、委託費上限額の範囲内で可能な提案を行い、提案書に記載してください。

(1) システム構築の基本要件

自動券売システム、窓口券売機（POS 端末）システム、WEBチケット販売システム、入館券読み取りシステム及び売上管理・入館実績管理システムは、運用、管理、集計の各面において、統合的に連携可能であること。また、売上管理・入館実績管理システム管理端末により、売上・入館者数のデータが集約できることを前提条件としてください。

その上で、入場ホール内の混雑解消、スムーズな移動動線など、効果的な入場ホール内のレイアウトを提案してください。

(2) システムの方式はクラウド（SaaS）方式か、オンプレミス方式でご提案ください。

(3) チケットシステム

① 自動券売機システム、窓口券売機（POS 端末）システム、WEBチケット販売システム、入館券読み取りシステム、売上管理・入館実績管理システムから構成してください。

② 取扱い可能なキャッシュレス決済の内容を提案してください。

③ 入館券読み取り機は、コストパフォーマンスに優れ、繁忙期と閑散期に対応できる内容を提案してください。

(4) 年間パスポート発行システム

WEB パスポートとカード併用の運用ができる仕組みを提案してください。

(5) 一般団体予約システム

① 当館の公式サイトからインターネットで必要入力項目について入力し予約可能な、現在と同等の仕組みを提示してください。

② 追加できる新機能があれば提案してください。

(6) 減免（団体）受付兼減免申請システム

① 公式サイトからオンラインでの減免（団体）の予約ができ、減免申請書の申請や減免承認書が発行可能な現在と同等の仕組みを提示してください。

② 当館が福島県への提出資料作成まで対応可能な、現在と同等の仕組みを提示してください。

(7) 運用環境等構築

将来的には経理システムとの連携における拡張性を予定しているため、実現可能性の有無とその内容について提案してください。

(8) システムの移行

システムの移行については、原則受注者側が行うこととします。移行がスムーズに行える方法及び、移行結果のチェック方法を提示してください。

(9) 保守管理運用業務

① 令和9年4月1日（木）以降の運用については本事業受注者と契約する予定です。翌年度以降の保守業務に必要な内容と1年間の経費を提示してください。

② 運用支援、保守体制、障害対応等、適切な対応を図るための具体的な運用管理方法を提案してください。

(10) その他

- ① 委託業務について移行計画のスケジュールを明示すると共に、システム移行期間と移行方法を明示してください。また、打ち合わせの回数や内容等、執行体制等も含めて具体的に提案してください。
- ② 過去の類似業務の実績及び執行体制を示してください。
- ③ 専門用語には、専門知識の無い者にも分かるよう簡単な説明を付記するなど、易しい言葉で書き表してください。
- ④ 本業務を実施するにあたり、提案者が上記以外の事柄で、必要、効果的と考える事柄があれば提案してください。

7 参加資格要件

- (1) チケットシステムシステムの構築実績があること。
構築実績について資料を提示してください。※構築実績について公表はいたしません。
- (2) 常に連絡調整ができるような体制を整えられる者を配置すること。
- (3) 委託業務に関し、主任技術者が置ける者を配置すること。
- (4) 法人格を有していること。(なお、企業共同体としての参加も認めるが、代表会社を明確にすること)
- (5) 会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づき更生手続き開始又は民事再生手続き開始の申立てがなされていないこと。
- (6) 破産法（平成 16 年法律第 75 号）に基づく破産手続き開始の申立てがなされていないこと。

8 本プロポーザルの実施スケジュール（予定）

| 日程 | 実施内容 |
|-------------------------------------|-------------------|
| 令和 8 年 5 月 26 日（火） | プロポーザル実施要領、仕様書の公表 |
| 令和 8 年 6 月 5 日（金） 17 時まで | 参加表明書の提出期限 |
| 令和 8 年 6 月 9 日（火） 17 時まで | 質問書の提出期限 |
| 令和 8 年 6 月 12 日（金） 17 時まで | 質問書への回答（当財団より） |
| 令和 8 年 6 月 30 日（火） 17 時まで | 企画提案書等の提出期限 |
| 令和 8 年 7 月 7 日（火）（予定） | プロポーザル審査会 |
| 令和 8 年 7 月 13 日（月）（予定） | 審査結果の通知 |
| 令和 8 年 7 月 13 日（月） ～ 7 月 31 日（金） | 仕様、契約内容の確認 |
| 令和 8 年 8 月 1 日（土） | 契約締結 |

9 質問等の受付

質問については、以下により受け付けます。

(1) 受付期間

令和 8 年 5 月 26 日（火）から令和 8 年 6 月 9 日（火） 17 時まで（必着）

(2) 提出方法

「質問書」(様式第1号)を公益財団法人ふくしま海洋科学館(以下、当財団)企画営業部へ電子メールにより提出してください。

電子メールの件名は「アクアマリンふくしまチケットシステム構築等業務委託企画プロポーザルに関する質問」とし、誤送信を防ぐため、送付した旨を電話にてお知らせください。

(3) 回答

質問に対する回答は、原則当館サイト上にて回答します。(令和8年6月12日(金)17時までに公表。通常、質問書受信後3~5日以内に回答)。質問又は回答の内容が質問者の具体的な提案事項に密接に関わるものについては、質問者に対してのみ電子メールにて回答します。また、当館において直接質問を受け付けることも可能です。その場合、事前に質問事項を質問書にて提出し、訪問時間を調整の上ご来館ください。オンラインの会議システムを使用しての問い合わせも受け付けますが、事前に質問事項を質問書にて提出し、会議の日時を調整してください。なお、会議のシステムは質問者にて登録を行い、当財団に共有してください。

10 参加表明書の提出

企画プロポーザルに参加する意思のある者は、「参加表明書」(様式第2-1号、JVで参加する場合は様式第2-2号)を以下により提出してください。

なお、この提出がない者の企画提案は受け付けません。

(1) 提出期限

令和8年6月5日(金)17時まで(必着)

(2) 提出方法

当財団企画営業部へ郵送又は持参又は電子メールにて提出。

※ 持参による提出の受付時間は、9時00分から17時00分までとします。

11 企画提案書等の提出

企画プロポーザルに参加する意思のある者は、「参加表明書」(様式第2号)の提出を行った上で、「企画提案書」等を以下により提出してください。

(1) 提出期限

令和8年6月30日(火)17時まで(必着)

(2) 提出方法

当財団企画営業部へ郵送又は持参。

※ 持参による提出の受付時間は、9時00分から17時00分までとします。

(3) 企画提案書等提出書類

(ア) 参加表明書(様式第2号)の写し

(イ) 企画提案書及び業務実施スケジュール(様式任意。原則日本産業規格A4判とするが、A3サイズを折りたたんで使用することも可とします。)

(ウ) 経費見積書(様式任意。ただし、日本産業規格A4判とします。)

(エ) 団体概要(様式第3号)

- (オ) 業務実施方針（様式第 4 号）
 - (カ) 過去に、類似の業務を行った実績を示す書類（様式任意）
 - (キ) その他企画提案を説明するのに必要な書類
 - (ク) 暴力団等反社会的勢力でないことの表明・確約に関する同意書（様式第 5 号）
- (4) 提出部数
- (ア)～(キ) 8 部（正本 1 部、副本 7 部）
 - (ク) 1 部（正本 1 部）

12 企画提案書の内容

企画提案書は、以下の事項に注意し作成してください。

- (1) 本募集要項の「2 背景と目的」と「5 委託業務の内容」、「6 企画要件」、別紙「アクアマリンふくしまチケットシステム構築等業務委託仕様書（案）」を踏まえた、システム内容、特に重視する事項等の明記
- (2) 責任者、主任技術者、スタッフの実績の明記

13 企画提案書等の提出に際しての留意事項

- (1) 失格又は無効

以下のいずれかの事項に該当する場合は、失格又は無効となる場合があります。

 - (ア) 提出期限を過ぎて書類が提出された場合
 - (イ) 提出書類に虚偽の内容の記載がされていた場合
 - (ウ) 提出書類に不備があった場合
 - (エ) 委託費の上限を上回る提案があった場合
 - (オ) 審査の公平性に影響を与える行為があった場合
 - (カ) 参加表明書の提出期限から当該業務の契約締結日までの期間内に、提案者又は役員が刑法に定める容疑により逮捕又は起訴された場合
 - (キ) 本実施要領に違反すると認められる場合
 - (ク) その他、ふくしま海洋科学館が予め指示した事項に違反した場合
- (2) 辞退

参加表明書（第 2 号様式）を提出した後に辞退する際には、辞退届（任意様式）を提出してください。
- (3) 費用負担

プロポーザルに要する経費等は、参加者の負担とします。
- (4) その他
 - (ア) 参加者は、参加表明書（第 2 号様式）の提出をもって、本実施要領の記載内容を承諾したものとみなします。
 - (イ) 提案の実現可能性を検討するため、必要に応じて提案者に対し、任意で追加資料の提出を求めることがあります。
 - (ウ) 提出された企画提案書等は、返却しません。
 - (エ) 提出された企画提案書等に係る第三者からの公文書開示請求に関しては、参加者の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがあるため、

開示しません。

14 プロポーザルの審査に関する事項

(1) 審査方法

下記審査会にて、当財団が定める審査方法により業務委託予定者を選定します。

(2) プロポーザル審査会（プレゼンテーション）

(ア) 開催日時及び会場

日時：令和8年7月7日（火）

場所：ふくしま海洋科学館1階アクアルーム1

（いわき市小名浜字辰巳町50）

※ 参加申込み多数の場合は事前選考を行う場合があります。

※ 事前選考結果や時間等詳細については、令和8年7月3日（金）までにご連絡します。

※ 審査会場に入室できる参加者は4名までとします。

※ ウェブ会議システムを利用した参加も可能とします。

※ 審査会後に内容について再度確認する場合があります。

(イ) プロポーザルの所要時間

30～40分程度の説明と15分程度の質疑を実施します。

(ウ) 機器の使用

プレゼンテーションにおいてパソコン、プロジェクター等を使用する場合は、事前に連絡してください。なお、パソコンについては提案者にて用意すること。スクリーン、プロジェクターは当財団で用意します。

(エ) ウェブ会議システムを利用した参加

オンラインでの参加を希望する場合、会議システムは提案者が準備し、審査会の日程の通知を受けた後から令和8年7月6日（月）15時までにミーティングルームのURLを共有してください。時間が前後する場合がありますため、設定時間には余裕をもって準備してください。

(オ) 審査基準

| 審査の視点 | |
|-------------------|---|
| 事業理解度 | ・本事業を十分理解し、現行システムの課題、他類似施設の事例などを分析のうえ、当館に最適なシステム構築を立案し、提案しているか。 |
| システム方式 | ・システムの方式はクラウド(SaaS)方式か、オンプレミス方式か。 |
| チケットシステム | ・当館の必要とする機能を満たす自動券売機システムを提案することができるか。 |
| | ・当館が求める仕様の入館券をプリントすることができるか。 |
| 窓口券売機(POS 端末)システム | ・当館の必要とする機能を満たす窓口券売機(POS 端末)システムを提案することができるか。 |
| | ・当館が求める仕様の入館券をプリントすることができるか。 |
| | ・事前発券機能や前売券の事前発券ができるか。 |
| | ・旅行クーポン(観光券)やバウチャーの精算が行えるか。 |
| システム | ・旅行クーポン券(観光券)の売掛精算管理機能を有するか。 |
| | ・キャッシュレスの決済事業者は現在そのまま使用できるか。 |

| | | |
|----------------------------|--|--|
| テ ム 構 築 | WEBチケット販売システム | <ul style="list-style-type: none"> 当館の公式サイトからインターネットでWEBチケットを過不足なく販売できるか。 販売コストはどのくらいかかるのか。 |
| | 入館券読み取りシステム | <ul style="list-style-type: none"> 当館の必要とする機能を満たす入館券読み取り器を提案することができているか。 券種によって判定音の鳴り分けが可能か。 入館可否等の判定をアラーム音や画面表示で知らせることができるか。 |
| | 売上管理・入館実績管理システム | <ul style="list-style-type: none"> 売上をわかりやすく集計管理できるか。 入館者実績を必要項目に沿って集計・閲覧・出力できるか。 |
| 年間パスポートシステム構築 | <ul style="list-style-type: none"> WEBパスポートとカード併用の運用ができるか。 現在使用のカードプリンターをそのまま使用できるか。 入館券読み取りシステム、売上（入館実績）管理システムと連携できるか。 | |
| 一般団体予約システム構築 | <ul style="list-style-type: none"> 当館の公式サイトからインターネットで必要入力項目について入力し、予約できる仕組みか。 窓口券売機(POS 端末)システム、売上（入館実績）管理システムとデータ連携が可能であるか。 入館料の精算は、利用当日の減員、増員に対応できるか。 | |
| 減免(団体)受付兼減免申請システム構築 | <ul style="list-style-type: none"> 当館の公式サイトからインターネットで減免(団体)の予約ができ、減免申請書の申請や承認書を発行できる仕組みか。 当館が福島県への提出資料作成まで対応できる仕組みか。 | |
| 企 画 提 案 | 入館ホールのレイアウト | 入場ホール内の効果的な動線、混雑解消にむけて提案をすることができているか。 |
| | キャッシュレス決済 | キャッシュレス決済の内容は多様なブランドに対応しているか。 |
| | 入館券読み取りシステム | コストパフォーマンスに優れ、繁忙期と閑散期に対応できる内容で提案なされているか。 |
| 業 務 遂 行 能 力 | システムの移行 | できる限り発注者側での作業が削減でき、スムーズに行える方法及び、移行結果のチェック方法を提示しているか。 |
| | 保守運用業務 | 運用支援、情報修正等、適切な対応を図るための具体的な運用管理方法について具体的に提案しているか |
| | 業務実績 | 当該業務の円滑な実施が期待できる過去の十分な業務実績があるか。 |
| | スケジュール管理、人員体制 | 事業を効果的に実施するためのスケジュール管理、危機管理も含め、迅速かつ確実に事業を遂行できる体制となっているか。 また、リニューアル業務、運用・保守業務を進める上で、必要な人員体制が確保されているか。 |
| | 分かりやすさ | 専門用語を多用せず分かりやすい説明だったか。専門的ではないスタッフと同じ目線に立って説明する姿勢が感じられたか。 |
| 積算金額及び積算根拠の妥当性 | 妥当で効率的・効果的な積算か。当財団の予算に見合っているか。 | |
| その他 | 本業務を実施するにあたり、提案者が独自に必要な・効果的と考えられる事柄がある場合に、提案しているか。 | |

(カ) 通知等

審査の結果は、プロポーザル参加者全員に通知するとともに、全提案者の

名称及び評価点を当館のウェブサイト上で公表します。

15 契約の締結など

(1) 仕様書の協議等

選定した業務委託予定者と当財団が協議し、委託契約に係る仕様を確定した上で契約を締結します。なお、仕様書の内容は業務委託予定者が提案した内容を基本としますが、提案内容のとおりには反映されない場合もあります。

(2) 契約金額の決定

契約金額は協議結果に基づき仕様書を作成し、これに基づき改めて見積書を徴取し決定します。なお、見積金額は委託費の上限価格を超えないものとします。

(3) その他

業務委託予定者と当財団との間で行う協議が整わない場合又は業務委託予定者が契約を辞退した場合は、審査結果において総合評価が次点であった応募者と協議します

(4) 委託業務契約の内容

別紙「業務委託契約書（案）」のとおり

16 その他

当該業務の他に、当館運営の別館アクアマリンいなわしろカワセミ水族館のチケットシステム業務の業務委託についても予定しているため、プロポーザル審査会後に受託者と詳細を検討させていただきます。（費用は別途）

(1) 名称

アクアマリンいなわしろカワセミ水族館
(福島県耶麻郡猪苗代町大字長田字東中丸 3447-4)

(2) 開館時間（最終入館は閉館時間の30分前まで）

通常期 午前9時30分～午後5時00分

冬期 午前9時30分～午後4時00分

(3) 休館日

なし

(4) 料金（1人につき）

| 区分 | 一般 | 学生 | 団体一般 | 団体学生 | 未就学児 |
|---------|-------|------|------|------|------|
| 入館料 | 700円 | 300円 | 560円 | 240円 | 無料 |
| 年間パスポート | 1700円 | 700円 | — | — | — |

(5) 入館者数

| 年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 総入館者数 | 79千人 | 77千人 | 72千人 | 75千人 |

(6) 履行期間

システム導入構築：令和9年3月31日まで

17 問合せ先及び各種書類の提出先

〒971-8101 福島県いわき市小名浜辰巳町 50

公益財団法人ふくしま海洋科学館 企画営業部 高田・大橋

電 話 : 0246-73-2532 F A X : 0246-73-2526 E-Mail : eigy@aquamarine.or.jp